



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

コード番号 2897 URL <http://nissin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO

(氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO

(氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	98,396	3.7	5,050	△14.9	6,664	△18.9	4,037	△23.2
26年3月期第1四半期	94,854	5.8	5,936	29.6	8,212	37.3	5,255	87.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,267百万円 (△82.4%) 26年3月期第1四半期 12,858百万円 (51.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	36.63	36.47
26年3月期第1四半期	47.69	47.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	471,691	341,248	70.3
26年3月期	479,469	342,300	69.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 331,380百万円 26年3月期 332,739百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	40.00	—	35.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	206,000	6.6	8,500	△14.7	10,500	△22.7	6,500	△23.9	58.97
通期	440,000	5.4	26,000	△6.2	31,000	△11.0	20,000	3.8	181.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 福建日清食品有限公司、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、【添付資料】P. 4(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、【添付資料】P. 4(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	117,463,685 株	26年3月期	117,463,685 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	7,234,969 株	26年3月期	7,242,013 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	110,223,825 株	26年3月期1Q	110,204,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想などの将来予測情報に関する説明)をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、政府・日銀の各種政策が経済に徐々に波及し、景気は緩やかな回復基調が続いております。個人消費は、4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により弱さが残るものの、一部に持ち直しの動きがみられています。

一方で、原材料価格やエネルギーコストの上昇などコスト上昇圧力が続いており、依然として先行き不透明な経営環境となっております。

このような状況の中、当社グループでは新たに強化した製品開発の施設である「グローバルイノベーション研究センター」を拠点に消費者ニーズに対応した付加価値の高い製品の開発に取り組み、より一層のブランド価値向上に努めました。「食の安全」については、経営の最重要課題と位置づけており、新しく「グローバル食品安全研究所」を開設し、中国にある「日清（上海）食品安全研究開発有限公司」とも連携しながら国内外の当社グループ工場で生産される製品の品質保証体制の強化を継続しております。

また、成長性の高い新興国を中心にグローバル戦略を推進するとともに、さまざまな経営環境にも即応できる強固な企業基盤の構築に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高では前年同期比3.7%増の983億96百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比14.9%減の50億50百万円、経常利益は前年同期比18.9%減の66億64百万円、四半期純利益は、前年同期比23.2%減の40億37百万円となりました。

## &lt;連結業績&gt;

(単位：百万円)

区分	平成26年3月期	平成27年3月期	対前期比	
	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	金額	%
売上高	94,854	98,396	+3,542	+ 3.7
営業利益	5,936	5,050	△ 885	△14.9
経常利益	8,212	6,664	△1,548	△18.9
四半期純利益	5,255	4,037	△1,217	△23.2

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

## ① 日清食品

日清食品(株)の販売状況は、袋めん類では、「チキンラーメン」やノンフライ袋めんの「日清ラ王」群が引き続き堅調に推移しました。特に、ゆであがり後に水でしめることで、“まるで、生めん。”のようなコシのある食感が引きつけた「日清ラ王 冷し中華」を発売し、春夏の袋めんの需要を喚起して売上を伸ばしました。

カップめん類では、4月に発売した「カップヌードルトムヤムクン」の売れ行きが好調だったことなど「カップヌードル」群が引き続き全体の売上増に大きく貢献しました。また、「新!ラ王 始まる お求めやすくなりました。」というキャッチコピーのもと、リニューアルした「日清ラ王」のカップめんも寄与しました。

その他、ルウでもレトルトでもない「第3のカレー」という新ジャンルを確立すべく発売した「日清カレーメシ」も好評で「即席ライス」群の売上も伸長しました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比2.2%増の461億48百万円となりました。一方、セグメント利益は、原材料価格の上昇や新商品の浸透を図るために広告宣伝費を投入したため、前期比16.7%減の44億8百万円となりました。

## ② 明星食品

明星食品(株)の販売状況は、袋めん類では、主力商品である「明星 チャルメラ」シリーズと「明星 中華三昧」シリーズをそれぞれリニューアル発売し、販促活動を強化したことにより売上が前年を上回りました。ただカップめん類は、「明星 チャルメラカップ」が好調だったものの他商品の落ち込みをカバーできず売上が伸び悩み、即席めん全体として売上減となりました。利益については、原材料費や減価償却費が増加した影響で前年を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比3.3%減の92億42百万円となり、セグメント利益は、前年同期比47.9%減の2億41百万円となりました。

## ③ 低温事業

日清食品チルド(株)の当第1四半期は、トータルで前年同期比売上増となりました。特に主力ブランドの「行列のできる店のラーメン」が順調に推移し、また、食べごたえのある太麺と濃厚な液体ソースが好評の「太麺焼きそば」や、のどごしが良く、つるっとした食感の「ざるつけ麺」等チルドならではの商品が売上増に寄与しました。

日清食品冷凍物の販売状況は、スパゲティ類をはじめ、ラーメンやたこ焼き類の売上が伸長しました。なかでも、食べごたえ十分の「冷凍 日清スパ王プレミアムBIG」シリーズや「冷凍 日清具多 辣椒担々麺」が消費者に受け入れられ、売上を伸ばしました。また、生パスタのタリアテッレを使用した「冷凍 日清もちっと生パスタ」シリーズや「冷凍 日清リストランテの生パスタ」シリーズが販売好調だったことも寄与して全体として売上増となりました。利益面では、原材料費の増加による影響などで、前年を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前期比4.5%増の136億47百万円となり、セグメント利益は、前年同期比65.2%減の55百万円となりました。

#### ④ 米州地域

米州地域は、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指し、高付加価値商品の強化に取り組んでおります。米国において将来の基軸商品となる「BIG CUP NOODLES」の大手量販店への導入も進み、売上は順調に推移しました。ただ、メキシコでは税制改正（IEPS）による小売価格上昇等の影響により販売数量が伸び悩み、全体で減収減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は前年同期比3.9%減の74億63百万円、セグメント利益は前年同期比76.6%減の37百万円となりました。

#### ⑤ 中国地域

中国地域は、中間所得者層の増加が続く中国大陸市場での営業販売網・営業人員拡大とブランド戦略が奏功し、増収増益となりました。特に中国版カップヌードル「合味道」は、大都市の若者をターゲットとして試食販売を増やすなど積極的な販売戦略を行い、華東・華南地区を中心に売上が伸長しております。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比32.5%増の88億8百万円となり、セグメント利益は、前年同期比49.7%増の11億1百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比3.5%増の130億86百万円となり、セグメント損益は、前年同期比1億15百万円増加の1億73百万円の利益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ77億78百万円減少し、4,716億91百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次の通りであります。

資産につきましては、主に投資有価証券が129億66百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ67億25百万円減少し、1,304億43百万円となりました。これは主に未払金が30億49百万円減少したこと及び未払法人税等が41億67百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億52百万円減少し、3,412億48百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が39億47百万円減少したこと及びその他有価証券評価差額金が23億63百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.4%から70.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、日清食品(香港)管理有限公司、東莞日清包装有限公司、日清湖池屋(中国・香港)有限公司、福建日清食品有限公司は重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社等の事業年度に関する事項の変更)

連結財務情報のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、Nissin Foods (U.S.A.) Co., Inc.、MYOJO U.S.A., INC.の連結子会社2社について、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。また、連結子会社のNissin Foods de Mexico S.A. de C.V.と持分法適用関連会社であるNissin-Ajinomoto Alimentos Ltda.について、連結決算日の3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これらの決算期変更に伴う、平成26年1月1日から平成26年3月31日までの当該連結子会社及び持分法適用関連会社の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	79,923	88,269
受取手形及び売掛金	51,298	43,622
有価証券	11,725	12,724
商品及び製品	10,032	13,468
原材料及び貯蔵品	10,926	11,009
その他	11,282	12,093
貸倒引当金	△369	△331
流動資産合計	174,819	180,855
固定資産		
有形固定資産		
土地	51,063	50,491
その他（純額）	96,556	95,688
有形固定資産合計	147,620	146,180
無形固定資産		
のれん	1,832	1,642
その他	4,477	4,939
無形固定資産合計	6,309	6,582
投資その他の資産		
投資有価証券	131,843	118,877
その他	19,203	19,522
貸倒引当金	△327	△326
投資その他の資産合計	150,720	138,073
固定資産合計	304,650	290,835
資産合計	479,469	471,691
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,461	43,999
短期借入金	3,332	3,309
未払金	24,536	21,487
未払法人税等	7,306	3,138
その他	21,530	20,900
流動負債合計	100,167	92,835
固定負債		
長期借入金	9,441	9,385
退職給付に係る負債	6,290	5,914
その他	21,269	22,307
固定負債合計	37,001	37,607
負債合計	137,168	130,443

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	263,585	263,941
自己株式	△21,710	△21,690
株主資本合計	315,413	315,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,562	19,925
繰延ヘッジ損益	38	△10
土地再評価差額金	△5,898	△5,898
為替換算調整勘定	5,214	1,266
退職給付に係る調整累計額	408	306
その他の包括利益累計額合計	17,325	15,590
新株予約権	1,180	1,532
少数株主持分	8,381	8,335
純資産合計	342,300	341,248
負債純資産合計	479,469	471,691



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	94,854	98,396
売上原価	52,707	55,439
売上総利益	42,146	42,957
販売費及び一般管理費	36,210	37,906
営業利益	5,936	5,050
営業外収益		
受取利息	217	212
受取配当金	931	882
有価証券売却益	267	-
持分法による投資利益	496	643
為替差益	327	-
その他	144	131
営業外収益合計	2,384	1,870
営業外費用		
支払利息	69	56
為替差損	-	108
租税公課	-	53
その他	38	39
営業外費用合計	107	257
経常利益	8,212	6,664
特別利益		
固定資産売却益	128	37
投資有価証券売却益	145	629
その他	0	3
特別利益合計	275	670
特別損失		
固定資産廃棄損	44	54
災害による損失	28	-
その他	5	27
特別損失合計	78	81
税金等調整前四半期純利益	8,409	7,253
法人税等	3,073	3,155
少数株主損益調整前四半期純利益	5,335	4,097
少数株主利益	80	59
四半期純利益	5,255	4,037

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,335	4,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	766	2,347
繰延ヘッジ損益	15	△48
為替換算調整勘定	4,022	△1,519
退職給付に係る調整額	191	△102
持分法適用会社に対する持分相当額	2,525	△2,506
その他の包括利益合計	7,522	△1,829
四半期包括利益	12,858	2,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,465	2,302
少数株主に係る四半期包括利益	392	△34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	45,175	9,559	13,058	7,763	6,649	82,207	12,646	94,854	—	94,854
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	326	295	306	—	28	956	4,041	4,997	△4,997	—
計	45,502	9,854	13,364	7,763	6,677	83,163	16,688	99,852	△4,997	94,854
セグメント利益	5,291	462	159	158	736	6,808	57	6,865	△929	5,936

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△929百万円には、退職給付関係費用97百万円、のれんの償却額△228百万円、セグメント間取引消去等33百万円、グループ関連費用△832百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	46,148	9,242	13,647	7,463	8,808	85,310	13,086	98,396	—	98,396
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	947	1,194	252	—	26	2,420	4,879	7,300	△7,300	—
計	47,095	10,437	13,899	7,463	8,835	87,730	17,966	105,697	△7,300	98,396
セグメント利益	4,408	241	55	37	1,101	5,844	173	6,017	△967	5,050

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△967百万円には、退職給付関係費用177百万円、のれんの償却額△171百万円、セグメント間取引消去等2百万円、グループ関連費用△975百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。